

平成25年度事業報告

甲 寿 園

平成25年度は、上半期について各事業ともに入居者・利用者数が目標に達しない状態が続き、入居者・利用者を増やし、事業計画に基づく目標を達成するための対策を入所関連職員だけではなく、介護・看護職員も意識を持ち、下半期において目標達成するため園を挙げての動きを作り出すことになりました。

兵庫県福祉サービス第三者評価事業を前年度に受審し、今年度は、兵庫県老人福祉事業協会サービス評価事業を受審しました。兵庫県老人福祉事業協会は、県下の特別養護老人ホームが加入し、この事業は、会員施設が「サービスの質の向上」「利用者主体のサービス提供」を進めていくために、評価を自ら行い、改善するために実施視察の中で助言・支援を行うことを目的としており、甲寿園の介護の質を飛躍させる機会となりました。

天井走行リフトを設置し、介護職員の健康を守り、利用者にも安心されるリフト活用を推進している事に対して福祉新聞社の取材を受け、大きく一面に掲載されました。また、作業療法士、理学療法士を中心にリハビリテーションを具体化させ、様々なアクティビティ活動についても高い評価を得ました。

六甲東山麓にある地元の自治会の方が甲寿園を訪れ、防災連携、コンサート、iPad 教室開催など様々なことで地域連携を強めました。5月に開催しました春フェスタには、地域の居宅介護事業所のケアマネジャー、他のデイサービス事業所、地域住民が参加し、地域支援を進めました。

1. 特別養護老人ホーム（定員168名）

特別養護老人ホームは、1日平均165名、利用率98%を目標に据えて事業を進めてきました。今年度は、1日平均利用者数163.2名 利用率97.4%となりました。

生活相談員3名体制でスタートしましたが、年度途中で育児休職があり2名体制となりました。上半期は入院、死亡が多く、入所が円滑に行えなかったため、入所対策委員会を緊急に開催し、8月後半より利用率を引き上げ、目標を達成することができました。下半期において目標を上回ることができた要因は、入所対策委員会を随時開催し、空床状況の把握を集団で行うと同時に入所者の面接を増やすことにより、円滑に入所が行えるようになったこと、また、通所介護事業相談員、短期入所事業相談員との連携を強化し、入所者情報が円滑に提供されるような体制としたことです。

兵庫県老人福祉事業協会・サービス評価事業を受審しました。87項目のサービス評価基準に基づく自己評価を正職員、嘱託職員、パート職員、給食委託職員、合計121名から集約し、分析を各部署で行いました。基本理念の項目では、118名に理念が浸透していることが高く評価されました。また、評価委員会が実際に来園し、無作為で指名された全職員が法人理念を暗唱することができました。

特別養護老人ホーム利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均	161.2	158.2	160.6	162.1	162.6	165.3	165.3	164.8	164.9	162.9	166.6	165.1	163.2名
利用率	96.0	94.2	95.6	96.5	96.8	98.4	98.4	98.1	98.2	96.9	99.2	98.3	97.4%

2. 短期入所生活介護事業（定員14名）

短期入所事業は、特養ホーム空床利用を含め、1日平均16.8名、平均利用率120%を目標に事業を進めてきました。今年度は、1日平均15.9名、利用率平均113.8%となり目標には達しませんでした。定員14名以上の利用水準は維持しています。

事業方針を達成できなかったのは、特養ホームの上半期での空床分を利用につなげることができなかったこと、また、下半期については、特養ホームがほぼ満床状態であり空床利用ができなかったことが要因となりました。

今年度下半期において、利用対策会議を開催し、特養ホーム生活相談員、通所介護事業相談員の連携が円滑に進みました。

緊急短期入所は、相談17件、実際に利用された方は7件となりました。西宮市の報告では、緊急時に対応できた施設は甲寿園、にしのみや苑での利用のみであり、西宮市における高齢者福祉に貢献しました。

面接件数・初回利用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面接件数	8	10	6	11	7	4	5	6	7	5	5	4	78件
初回利用件数	7	9	7	10	10	5	7	2	8	4	8	4	81件

短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1日平均	14.7	14.4	14.6	15.4	15.5	16.8	16.8	16.6	17.2	16.1	16.1	16.5	15.9名
利用率	105.2	102.5	104.3	109.7	110.6	120.0	120.3	122.9	122.8	114.7	116.3	118.0	113.8%

緊急短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	1	2	1	3	1	0	2	3	1	1	0	2	17件
緊急受入件数	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	2	7件

3. 通所介護事業（定員28名）

平成25年度の利用目標は、一日平均25名・利用率90%として取り組み、1日平均利用者23.8名、利用率85.1%となりました。目標の利用率を超えたのは7月のみであり、風邪等での欠席が多かった1月は80%を下回りました。利用者の入院、短期入所、特養入所があり、利用率低下の要因となります。常に新規利用者と契約し、利用して頂くことが通所介護事業相談員の重要な仕事となります。1日28名を超えてはならない介護保険法上の指導もあり、消極的な利用管理となってしまいました。

特徴のある通所介護事業をめざし、ナノミストフットバス、マッサージチェア、トレーニング機器等を購入設置し、環境整備および改善に取り組みました。広報活動として、市内の居宅介護支援事業所ケアマネジャーを招待し、事業を知って頂き利用者と同様の食事を試食していただく食事会を開催しました。在宅支援事業への取り組みとして、市内介護サービス事業所や市民の方をお招きし、春フェスタを開催しました。利用者には、大変喜んで頂きました。また、居宅介護支援事業所へ園便りの送付や訪問を行い、関係機関との連携を図りました。

送迎については、便数を増やし送迎範囲を広げて行きました。また、通所介護事業所の浴室の床と特殊浴槽の入れ替え工事を行い、快適な入浴を更に行えるようにしました。

通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
開所日	26	27	25	27	27	25	27	26	25	25	24	26	26日
1日平均	24.1	24.9	24.0	27.4	23.2	23.2	23.6	22.9	23.9	22.3	22.7	23.7	23.8名
利用率	86.6	88.8	85.7	98.0	82.8	82.7	84.1	81.9	85.4	79.7	81.0	84.6	85.1%
介護予防	27	25	22	24	23	26	27	29	26	25	29	31	314件

4. 居宅介護支援事業

上半期については、ケアマネジャー2名での予算を組み事業を行いました。下半期は産休のため1名での事業となり、事業目標を下回りました。5月に開催しました春フェスタでは、ケアマネジャーが中心となり、地域連携を進めました。

居宅介護利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアプラン数	44	44	42	34	35	34	33	31	30	31	33	33	424件
予防プラン数	3	2	2	2	2	3	2	2	2	2	1	1	24件
ケアマネ人数	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1.5名

5. 教育・研修・資格取得

研修委員会は、研修担当係長、研修委員が責任を持って1年間を通して研修計画に沿って研修を進めました。職員の資格取得に対し援助を行い、介護福祉士国家試験に10名が合格しました。

自己研修制度を啓発し、職員は自己研鑽に努めました。前兵庫県介護福祉士会会長（介護共育研究会）とスーパーバイザー契約を行い、役職者を重点に研修会を重ねました。介護実践をまとめる事例研究は、各フロア1～2事例を法人実践研究発表会、21老福連職員研究交流集会等で発表しました。

介護プロフェッショナルのキャリア段位制度では、アセッサー（評価者）による評価に基づいて行いますが、アセッサーになるための講習カリキュラムを受講し3名が合格しました。まだ、全国的に3,329名、特養ホームでは528名、兵庫県では73名がアセッサーとなっています。

デンマーク、スウェーデンの福祉を学ぶ海外研修を初めて実施しました。「スウェーデン・デンマークの高齢者福祉を体験する！」というテーマで認知症や看取りの現場を体験することにより、甲寿園における介護に関して、広い視野で考える力を身につけることを大きな目的として実施しました。

研修状況

	回数	参加数	介護福祉士 合格者	社会福祉士 合格者	初任者研修資格
園内研修	12回	227名	10名	0名	0名
外部研修	56回	106名			
自己研修	3回	3名			

6. 実習生の受け入れ

昨年度に引き続き、西宮市薬剤師会の要望に応じて実習生を受け入れました。また、作業療法士の実習生も受け入れる事ができるようになりました。介護福祉士、社会福祉士の実習は、福祉や介護を学ぶ学生数が減少し、今年度も少ない実習生でしたが、職員は、将来を担うことを意識し、丁寧で熱心な実習指導を行っていました。日本福祉大学との新たな実習の在り方として、社会福祉士の宿泊実習として2名の学生を受け入れました。

実習状況

介護福祉士	ヘルパー2級	社会福祉士	介護等体験	栄養士	トライやる	薬剤師	作業療法士	合計
8名	6名	2名	23名	4名	7名	16名	7名	73名

7. 地域連携・ボランティア・情報公開

六甲東山麓にある自治会の皆様との防災勉強会から始まり、地域交流スペース（あいあいホール）の活用として、9月1日、風のコンサート、12月4日、クリスマスコンサート（鷲林寺町協力）を実施し、多数の住民に参加して頂きました。地域住民の皆様と高齢者向けのiPad教室を地域情報ポータルサイト西宮流（スタイル）iPadカフェの協力で毎月2回開催しました。

北山学園保護者、園児の活動の場としても利用、甲陽園小学校PTAの皆様で運営されているコーラスの練習にも利用して頂きました。ホールは、年間を通して、多くのボランティアに参加して頂き、音楽や芸能活動の発表の場となりました。

「平成24年度年報・甲寿園だより」は、7月1日に発行しました。ホームページは、広報紙WEB版をアップ、また、園長だより（ブログ）も毎月、更新しました。新たにフェイスブック公式甲寿園を開設し、発信を継続しています。広報「甲寿園だより」は、広報編集委員会を中心に毎月発行し、家族、県・市、高齢関係諸団体へ発送しました。

ボランティアは、年間を通じて延べ2,000名を受け入れ、9月16日、敬老の日に「歓びの会」を開催し、その中でボランティア感謝の集いを行いました。

8. 防災・危機管理

防災訓練は、年3回実施（夜間想定・土砂災害）し、にしのみや苑との合同防災避難訓練を行いました。また、甲山地区にある3施設合同の防災訓練を実施、連携を確認しました。また、緊急連絡網については、大地震、大津波時の災害時の緊急出勤を整備し記載しました。

六甲東山麓の土砂災害対策の近隣住民、自治会との連携を継続し、通常の避難所での生活が困難な方々の福祉避難場所として甲寿園を活用して頂くこと等を自治会長と話し合いました。

9. 工事・設備改善・備品購入

事業計画に沿い、通所介護事業では、ナノミストフットバスの購入、特殊浴槽を購入し、同時に浴室内の床を利用者の入浴時に裸足になっても滑らず、温かみのある床材を導入しました。

特別養護老人ホームでは、平成4年以来20年間、長年にわたり使用してきた食事用テーブルと椅子を入れ替えました。WindowsXPのサポートが終了するため、全てのPCの入れ替えを行いました。甲山福祉センター後援会の助成を頂き、今年度の福祉機器展で注目を浴びたナノミストバス（全身浴）を購入しました。

今年度は、消防設備修繕、排水管修繕等、北館での建物の保守修繕が多く発生しました。事業計画としていた北館3階のトイレ・汚物処理室・デイルーム改修については、次年度事業としました。